



特集 40年目の再発見

## ランタンが浮かぶ夏の黄昏<sup>たそがれ</sup>

第10区天神前地域づくり実行委員会による「ランタンの夕べ祭り」が、8月25日に天満神社前でおこなわれました。このイベントは、かつての天満神社の例祭のにぎわいを取り戻そうと今年初めて開かれたもので、50個以上のランタンが神社前の通りに並べられました。ランタンにはにぎわいの保育園の園児などが描いた絵が貼り付けられており、宵闇の中に淡い光が並ぶ光景に多くの人が見入っていました。

平成30年

9

No.691



川底に胸部がはつきりと



六十cmの背骨と七本の肋骨が見られ、およそ八百年前〜一千万年前くらいのもので推定されています。

# 40年目の再発見

## ヤマガタダイカイギュウ

今年七月、月布川支流瀬川で海水魚の化石が発見されたが、今度は、最上川川底からクジラの化石が発見された。

発見したのは、左沢小六先生なる用の渡辺政紀君で、八月二十一日友達が最上川に夏休みの自由研究に出かけた際、用橋上流約百mの川底から化石らしいものを見つけたため、学校に報告。学校ではさっそく県立博物館に連絡し、高橋静夫研究員に現場で調査してもらったこと。クジラの化石とわかりました。この化石は、クジラの胸部で、

この町に大発見をもたらすきっかけの一つとなったのです。

昭和53年夏、用地区を流れる最上川は、渇水によって川底の岩盤が露わになっていました。小学校の夏休み中の8月21日、当時左沢小学校6年生の渡辺政紀さんと斎藤正弘さんが、釣り遊び中に岩盤から露出した大きな動物の化石らしきものを発見。2人は始業式の日、先生に報告、27日には山形県立博物館の研究員がさっそく調査をおこないました。2人の小学生が見つけたこの大型動物の化石は、当初はクジラのものではないかと考えられていました。

この町に大発見をもたらすきっかけの一つとなったのです。

昭和53年夏、用地区を流れる最上川は、渇水によって川底の岩盤が露わになっていました。小学校の夏休み中の8月21日、当時左沢小学校6年生の渡辺政紀さんと斎藤正弘さんが、釣り遊び中に岩盤から露出した大きな動物の化石らしきものを発見。2人は始業式の日、先生に報告、27日には山形県立博物館の研究員がさっそく調査をおこないました。2人の小学生が見つけたこの大型動物の化石は、当初はクジラのものではないかと考えられていました。

この町に大発見をもたらすきっかけの一つとなったのです。

昭和53年夏、用地区を流れる最上川は、渇水によって川底の岩盤が露わになっていました。小学校の夏休み中の8月21日、当時左沢小学校6年生の渡辺政紀さんと斎藤正弘さんが、釣り遊び中に岩盤から露出した大きな動物の化石らしきものを発見。2人は始業式の日、先生に報告、27日には山形県立博物館の研究員がさっそく調査をおこないました。2人の小学生が見つけたこの大型動物の化石は、当初はクジラのものではないかと考えられていました。

この町に大発見をもたらすきっかけの一つとなったのです。

この町に大発見をもたらすきっかけの一つとなったのです。

この町に大発見をもたらすきっかけの一つとなったのです。

この町に大発見をもたらすきっかけの一つとなったのです。

この町に大発見をもたらすきっかけの一つとなったのです。

この町に大発見をもたらすきっかけの一つとなったのです。

この町に大発見をもたらすきっかけの一つとなったのです。

この町に大発見をもたらすきっかけの一つとなったのです。

この町に大発見をもたらすきっかけの一つとなったのです。

この町に大発見をもたらすきっかけの一つとなったのです。

この町に大発見をもたらすきっかけの一つとなったのです。

この町に大発見をもたらすきっかけの一つとなったのです。

この町に大発見をもたらすきっかけの一つとなったのです。

この町に大発見をもたらすきっかけの一つとなったのです。

この町に大発見をもたらすきっかけの一つとなったのです。

この町に大発見をもたらすきっかけの一つとなったのです。

この町に大発見をもたらすきっかけの一つとなったのです。

## 草食動物ではないか

用の化石 鯨とちがった動物

はげしい雷雨の中 間一髪の発掘作業

昨年夏、用地区の最上川で川の観察をしていた左沢小六先生や六年生渡辺政紀君たちが、用橋の上流約一〇〇メートルの、異常な渇水で干上がった川床で、動物博物館では、早速地学担当の県立橋本研究員 橋本研二先生を中心として、

この町に大発見をもたらすきっかけの一つとなったのです。

この町に大発見をもたらすきっかけの一つとなったのです。

この町に大発見をもたらすきっかけの一つとなったのです。

この町に大発見をもたらすきっかけの一つとなったのです。

この町に大発見をもたらすきっかけの一つとなったのです。

## 大海牛とわかる

世界でも新種の可能性

用の化石

昨年夏、用の最上川底から化石が発見され、最初クジラではないかと思われていたが、クリーニングされ、さらに研究が続けられることになっている。

この町に大発見をもたらすきっかけの一つとなったのです。

この町に大発見をもたらすきっかけの一つとなったのです。

この町に大発見をもたらすきっかけの一つとなったのです。

この町に大発見をもたらすきっかけの一つとなったのです。

この町に大発見をもたらすきっかけの一つとなったのです。

この町に大発見をもたらすきっかけの一つとなったのです。

この町に大発見をもたらすきっかけの一つとなったのです。

この町に大発見をもたらすきっかけの一つとなったのです。

## 最初クジラと思われていたが……

昨年八月、当時小学校六年生の渡辺政紀君と同斎藤正弘君の

この町に大発見をもたらすきっかけの一つとなったのです。

この町に大発見をもたらすきっかけの一つとなったのです。

この町に大発見をもたらすきっかけの一つとなったのです。

この町に大発見をもたらすきっかけの一つとなったのです。

この町に大発見をもたらすきっかけの一つとなったのです。

この町に大発見をもたらすきっかけの一つとなったのです。

この町に大発見をもたらすきっかけの一つとなったのです。

この町に大発見をもたらすきっかけの一つとなったのです。

この町に大発見をもたらすきっかけの一つとなったのです。

## アメリカの専門家から鑑定報告書

二人が、最上川に夏休みの自由研究に出かけた際、用橋上流約一〇〇m付近で川底から動物の化石らしきものを見つけた。

この町に大発見をもたらすきっかけの一つとなったのです。

この町に大発見をもたらすきっかけの一つとなったのです。

この町に大発見をもたらすきっかけの一つとなったのです。

この町に大発見をもたらすきっかけの一つとなったのです。

この町に大発見をもたらすきっかけの一つとなったのです。

この町に大発見をもたらすきっかけの一つとなったのです。

この町に大発見をもたらすきっかけの一つとなったのです。

この町に大発見をもたらすきっかけの一つとなったのです。

この町に大発見をもたらすきっかけの一つとなったのです。

## お手柄渡辺君、斎藤君

県教育委員会から表彰される

世界でも例のない新種とみられるこの化石は、県立博物館の化石展で一般の人々にも公開されました。

この町に大発見をもたらすきっかけの一つとなったのです。

この町に大発見をもたらすきっかけの一つとなったのです。

この町に大発見をもたらすきっかけの一つとなったのです。

この町に大発見をもたらすきっかけの一つとなったのです。

この町に大発見をもたらすきっかけの一つとなったのです。

この町に大発見をもたらすきっかけの一つとなったのです。

この町に大発見をもたらすきっかけの一つとなったのです。

この町に大発見をもたらすきっかけの一つとなったのです。



(右、渡辺君 左、斎藤君)



ステラー大海牛 大 海 牛 と は 皮が厚く、暗灰色で性質はおとなしい。資源が豊富で、浅い海に住むコンブ類などの海藻をむさばり食べていた哺乳動物。人魚の伝説で知られているジュゴンと同じ仲間。体長およそ2.7〜4m。

## その正体は海牛の仲間

調査の結果、発見された化石は明



## 渇水もたらした発見

今年の夏は全国的に猛暑に見舞われ、町内でも雨の降らない日が何日もわたって続きまし





▼今年7月、用地区の化石発見現場付近の様子。少雨の影響で水量が減少し、川底が見えるほどの状態になっています。40年前はさらに水量が少なかったともいい、このような天候でなければヤマガタダイカイギュウは未だに発見されず、川底に眠ったままだったかもしれません



実物大模型（ふれあい会館展示物）

## ヤマガタダイカイギュウ

(学名：*Dusisiren dewana*)

- 生息時期：約 900 万年前
- 体長：約 3.8m（実物大模型より）
- 食性：草食性
- 特徴：現在のジュゴンのように泳ぎはゆっくりで、性格もおとなしく、浅い海の底でコンブなどの海藻を食べて生きていたと考えられている。

※情報提供…山形県立博物館研究員・石黒宏治さん



らかに貴重なものだと判断されましたが、雨が降って川の水量が元に戻れば化石が水没してしまうため、早急に化石を掘り出さなければなりませんでした。

そこで、町教育委員会や町内の石材店などの協力のもと、8月30日に発掘作業を実施。化石は周りの岩石ごとブロック状に削り取ることで掘り出され、翌日県立博物館へ運ばれました。

発掘作業がおこなわれた30日の夕方には急な雷雨となり、その後も最上川の水かさは一層を続け、化石を発掘した岩盤はあつという間に水面下に沈んでしまったということです。

掘り出された岩石の中からは、長さ約50センチメートルの頭骨をはじめ、多くの骨の化石が発見されました。県立博物館でこれらの骨を岩石の中から取り出して詳しく調べ、さらにジュゴンの仲間である「海牛類」研究の世界的権威として知られたアメリカ合衆国のドムニング博士に写真を送付し、鑑定を依頼。その結果、用地区で発見された化石はクジラではなく、はるか大昔に生息していた海牛類のものであり、新種の可能性もあるということが判明しました。

## 進化の謎を解くカギに



昭和57年8月、海牛化石の正式な鑑定をおこなうため、ドムニング博士が来町。発掘された化石の調査と用地区の現地調査を実施し、発見された化石が新種の海牛類のものであると太鼓判を押しました。この新発見の海牛には、発見地の県名である「山形」から名前をとって「ヤマガタダイカイギュウ」と和名が付けられました。

海牛類には、現在も生息しているジュゴンや、約200年前まで生息していたステラーカイギュウなどがあります。ドムニング博士は、海牛類がこれらの種へ進化していく過程で歯や指が失われていったと考えており、そうした体の変化の途中にあたる海牛がいたはずだと予想していました。用地区で見つかったヤマガタダイカイギュウは指の骨が小さくなっている一方、歯はその形をまだ残しており、このことがまさに進化の空白を埋める存在であることを示していました。

このように、ヤマガタダイカイギュウの発見は海牛類の進化を知るうえで非常に大きな意義があったといえます。

## ぷくちゃん誕生への道



山形県立博物館では、ヤマガタダイカイギュウの全身骨格のレプリカが常設展示されています。しかし、実際に発見された化石は頭骨を含む上半身の骨だけでした。下半身の骨は、アメリカでほぼ全身の骨格が発見されたジョルダンカイギュウを参考にして復元されたものです。骨格レプリカが完成したのは、昭和60年3月のことでした。

発掘地である本町では、ヤマガタダイカイギュウの実物大の復元模型を制作して町の目玉にしようという声が高まりました。そこで、県立博物館の骨格模型写真に肉が付いた姿の図面が作られ、それをもとに石膏で原型が作成されました。この原型はドムニング博士によって修正が加えられ、これをもとにして実物大の復元レプリカが完成。昭和60年12月25日、当時の中央公民館に展示され、ヤマガタダイカイギュウの生きていたころの姿が再現されました。

さらに、より多くの人にヤマガタダイカイギュウに親しんでもらうため、このレプリカに愛称を付けることになり、公募の結果愛称は「ぷくちゃん」に決定。キャラクターグッズ

# 3D技術普及でさらなる進化を

ズも制作され、その愛らしい姿とネーミングも相まって、ヤマガタダイカイギュウと「ぷくちゃん」は町民の皆さんに長く愛される存在となりました。

## 最新技術で新たな試み



昨年3月、県立博物館の依頼を受けた県立産業技術短期大学校で、ヤ



▲今年2月の「シェイクラボ」で展示された、ヤマガタダイカイギュウの全長約40cmのスケルトンレプリカ。発掘された骨が体の内側にどのように付いていたかが分かります



▲左沢高校美術部によるヤマガタダイカイギュウ化石レプリカの着色作業

## Interview

山形県立博物館  
研究員  
(地学部門)  
石黒宏治さん



国内で発見された海牛化石には、ヤマガタダイカイギュウのほかに福島県喜多方市（旧高郷村）で見つかったアイヅタカサトカイギュウ、北海道滝川市で発掘されたタキカワカイギュウがあり、この3種が日本の海牛類研究のベースとなっています。これら3種の中でも、ヤマガタダイカイギュウは頭骨がほぼ完全な形で残っていることなどから、特に貴重な化石だということがいえます。

ヤマガタダイカイギュウという和名には「ダイ」が含まれています。これは、発見当時にはこのような大型動物の化石があまり見つかっておらず、現在のジュゴンやマナティーと比べても体が大きかったことから付けられたのだと思います。

10月には2人の発見者の母校・左沢小学校で出張授業をおこなう予定です。ヤマガタダイカイギュウの化石は世界で一体しかなく、県の天然記念物に指定された県民全体の宝でもあります。これを機会に、発見地である大江町の子どもたちにも興味を持ってもらえればうれしいですね。





Interview

ヤマガタダイカイギュウ  
化石発見者  
齋藤正弘さん  
(用出身)

もう一人の発見者の渡辺政紀さんとは、当時いつも一緒に遊んでいました。あの日、ヤマガタダイカイギュウの化石を見つけたのも、一緒に魚釣りに行っていた時のことです。実は川での魚釣りは学校で禁止されていて、むしろ先生に叱られたことの方が記憶に残っていますね。

見つけた時は、恐竜の化石ではないかと思っていました。クジラの骨ではと聞いた時は正直残念に思ったのですが、式典などに呼ばれて初めて「すごい発見だったんだ」と実感しました。

あれから40年。大昔の生き物について今の子どもたちが興味を抱いてくれたらうれしいですし、そういった環境整備に関しても力になればと思います。



▲山形県立博物館のヤマガタダイカイギュウ全身骨格模型。よく見ると、実際に発掘された部分と、ジョルダンカイギュウの骨格をもとに復元された部分の色が異なっているのが分かります

マガタダイカイギュウの化石の3Dスキャンによるデータ化がおこなわれました。3Dスキャンは物体を3次元のデータとして取り込む技術で、このデータを3Dプリンターに出力すれば、元の物体に忠実な複製を簡単に作る事が可能になります。このデータを利用して、3Dプリンターでヤマガタダイカイギュウの化石のレプリカが作成されるようになります。本物の化石と細部まで同じ形でありながら気軽に触れるため、見学者に実際に手で触って体験してもらうこともできるようになります。2月25日に中央公民館で開かれた「大江町の博覧会シェイク

ラボ」でも体験ブースが設けられ、多くの来場者が頭骨のレプリカに触れていました。

また、化石の3Dデータ化は研究の面においても大きなメリットをもたらします。ヤマガタダイカイギュウの実際の化石は県立博物館が所蔵していますが、大変貴重な標本であるため、研究目的であつても簡単に持ち出すことができません。データであれば容易に閲覧することができ、立体であるため実物と同じように化石を観察することが可能です。多くの研究者がデータを共有することによって、今後研究がさらに進むことが期待されます。

未来の海へと泳ぎ出す



ヤマガタダイカイギュウの発見から今年で40年となることを記念し、県立博物館では9月22日からプライム企画展「ヤマガタダイカイギュウと人魚たち——1千万年進化のドラマ——」が開催される予定です。この展示物の一つとして、県立産業技術短期大学校でデータ化された化石のモデルをもとに、山形大学工学部の石膏3Dプリンターで頭骨などの実物大模型が作られ、左沢高校美術

部の生徒たちが着色作業を施しました。また、ふれあい会館の実物大レプリカ「ぷくちゃん」も展示されることになっています。

近年、本町ではヤマガタダイカイギュウのキャラクター性に再注目し、PRや地域活性化に生かそうとする動きもあります。町営バスの停留所表示板も、今年からヤマガタダイカイギュウの顔をイメージした親しみやすいデザインになりました。ヤマガタダイカイギュウがモチーフの当地ヒーロー「憑身シェイカー」も、町内外のイベントなどで活躍中です。ヤマガタダイカイギュウの発見後、国内ではアイツタカサトカイギュウ、タキカワカイギュウといった海牛類の化石が相次いで発見され、これらの同種とみられる化石も発掘されています。しかし、ヤマガタダイカイギュウの化石は40年前に用地区で見つかった1体のみで、現在世界中どこを探しても他には存在しません。900万年という気の遠くなるような時間を経て発見された、この町の「先住者」であるヤマガタダイカイギュウ。新しい研究や技術、発想によつてこれからも進化し続け、私たちに新しい姿を見せ続けてくれるのではないのでしょうか。



## 1 ■一丸となって安全な町を目指す ～大江町交通安全町民大会～

交通事故防止の意識高揚を図るための大江町交通安全町民大会が、9月2日にふれあい会館で開催され、町の交通安全対策協議会などの関係者のほか、町内各団体、一般参加者など合わせて約400人が参加しました。

近年、県内での交通事故による死者のうち半数以上を65歳以上の高齢者が占めていることなどから、今大会では山形県交通安全活動推進センターによる高齢者交通安全講習会がおこなわれ、高齢者を事故から守るための方法などが分かりやすく解説されました。

また、この日は大江中学校吹奏楽部による演奏が披露されたほか、にじいろ保育園と大江幼稚園のかもしかクラブの子どもたちが、山形県警察のマスコットキャラクター・カモンくんや町のご当地ヒーロー・憑身シェイガーと一緒に「交通安全マーチ」を踊り、会場を沸かせました。

その後、左沢高校生活委員会の柏倉小弥花さん（寒河江市）と結城しずくさん（美郷）が、これまで取り組んできた安全活動について発表。「今後も安全な学校生活のために、活動を続けていきます」と決意表明し、大会を締めくくりました。



▲かもしかクラブの園児による「交通安全マーチ」



▲左沢高校生活委員会の決意表明

## 2 ■海と山の交流さらに深める ～えんころ舟唄交流事業に関する協定延長～



宮城県亘理町の山田周伸町長が8月27日に本町を訪れ、渡邊町長と「えんころ舟唄交流事業に関する協定書」を取り交わしました。この協定は平成24年度に初めて締結されたもので、両町が地域活性化に向けて友好な関係を保ち協力しながら、仙山交流・海山交流という観点で人とものとの交流をおこなうことが定められています。

今回結ばれた協定の期間は、平成32年度までの3年間です。今後も両町の物産市や民謡大会などを通じて、友好関係がますます深まっていくことが期待されます。

平成30年第2回大江町議会臨時会が、8月24日に開かれました。このたびの臨時会では、平成30年度一般会計補正予算などについて審議され、原案どおり承認・可決されました。

# 議会

town council

## 第2回臨時会

《専決処分の承認》  
山形県医療給付事業補助金交付規程の改正に伴う、大江町医療給付に関する条例の一部を改正する専決処分が承認されました。

《補正予算》  
平成30年度一般会計予算について、左沢駅前公有地への企業誘致に関する費用の計上により、歳入歳出予算の総額にそれぞれ5150万円を追加し、48億8280万円とする補正予算案が可決されました。





様々な分野で活躍され、表彰された町民の方々を紹介します

### 平成30年度 全国高等学校総合体育大会

#### 女子4×100mリレー第3位

山形中央高校2年  
岡田 悠さん(蛍水)



写真提供：(株)P & P 浜松

▲8月4日のインターハイ決勝、スタートを切る第1走者の岡田さん

平成30年度全国高等学校総合体育大会(インターハイ)陸上競技が8月1日から6日にかけて三重県伊勢市で開催され、女子4×100メートルリレーで岡田悠さんが第1走者を務める山形中央高校チームが見事第3位に輝きました。この大会の予選で45秒81をマークし、山形県記録を更新。準決勝を通過し、決勝では1位から4位までが45秒台というハイレベルな戦いの中で、45秒82を記録し3位のメダルをもぎ取りました。

「去年のインターハイでは、同じメンバー、同じ走順で6位という結果に終わったので、今年は絶対に日本一になると決めて練習に取り組みました。3位になった時は、正直悔しい気持ちが強かったです」と、率直な感想を話してくれた岡田さん。昨年の課題だったバトンパスを重点的に練習し、大会当日の天候を想定してあえて暑い中で練習をおこなうなど、インターハイに向けてあらゆる対策を練ってきたそうです。

「この大会にすべてをかける思いでがんばってきました。本番では気持ちも走りもすべて出し切ることができたので、今は悔いはないです。メダルを持ち帰ることができたのはうれしいですね」  
10月にはU18日本陸上競技選手権、日本陸上競技選手権リレー競技大会と大きな大会を控え、さらには来年のインターハイも視野に入れて練習に励んでいる岡田さん。  
「これからは、自分がチームの柱にならなければいけないと思っています。個人種目でも、もっと良い記録が出せるようにがんばりたいですね」  
全国のライバルと競い合う岡田さんの挑戦は、まだまだこれから続いています。

### 第73回山形県総合美術展(敬称略)

#### 〔入選〕

日本画

峻嶺

彫刻

〔師匠〕

川村 秀子(4区)

佐藤 進(8区)

### 第60回こども県展(敬称略)

#### 〔奨励賞〕

「つよいぞ! カブトムシ」

庄司 暖(にじいろ保育園)

「最上川の景色」

伏貫珠生(大江中1年)

#### 〔入選・園児〕

(大江幼稚園)

大沼愛奈

鹿野蒼大

佐竹 唯

淀谷理希

佐藤 優

木村麻人

(にじいろ保育園)

神保健太

後藤 暖

#### 〔入選・小学生〕

古沢将太

(左沢小5年)

#### 〔入選・中学生〕

鈴木舞乃

(大江中3年)

佐竹叶夢

(大江中1年)





- ①中央通り商店街の青竹ちょうちんと花火のコラボレーション
- ②14日、小倉交流館で開催された「魚つかみどり大会」
- ③15日、吉村知事のカウントダウンにより花火打ち上げ開始
- ④15日、サマー・コミュニケーション・フェスでのO-STEPキッズダンス「SMIZE」のパフォーマンス
- ⑤15日、水難者の霊を弔う川供養
- ⑥15日、原町露店市の様子
- ⑦15日、川を彩る色とりどりの灯ろう
- ⑧左沢駅前通りを照らす行燈



本町の夏の風物詩である「水郷大江夏まつり」が、8月10日から16日にかけて開催されました。今年の夏まつりでは、8区行燈まつりのオープニングイベントを皮切りに、朝市、魚つかみどり大会など連日さまざまなイベントが催されました。

15日夜には、96年と県内で最も古い歴史を持つ灯ろう流し花火大会が開催されました。少雨による最上川水位の不足が心配されたものの、川面を流れる灯ろうの柔らかな明かりと、轟音とともに夜空に咲き乱れる花火の共演が今年も実現し、およそ9万人の来場者が大江の夏の夜を満喫していました。







8月10日～16日

# 水郷大江夏まつり





## 8/14 ふるさとで成人としての第一歩

新成人となった節目をふるさとで祝う大江町成人式が、8月14日にふれあい会館で開かれました。今年は平成9年4月2日から平成10年4月1日までに生まれた83人が成人式を迎え、そのうち51人が出席しました。

式典では、渡邊町長が「大人になってからは、厳しいときには自分が作り上げてきた力で乗り越えるしかありません。これから皆さんが自身を立派な人間として完成させてくれると信じています」と式辞を述べ、記念品を成人者に贈呈しました。成人者からは町へ記念品として図書一式が贈られ、代表の鈴木天乃さん（諏訪原出身）が「これまで私たちを育ててくれた両親や周りの方への感謝を忘れず、今後も一步一步成長して、社会を背負って立つ社会人の一員になります」と、成人の誓いの言葉を力強く述べました。

式典後には「20歳のつどい」が中央公民館で開かれ、久々に再会した同級生や恩師と思い出話に花を咲かせていました。



▲記念品を贈呈した「20歳のつどい」実行委員長の井上翔太さん（小見）



▲誓いの言葉を述べた鈴木天乃さん

## 8/5 強豪ひしめく中で大健闘！

第21回山形県ジュニア駅伝競走大会と第43回蔵王坊平クロスカントリー大会が、8月5日に蔵王坊平で開催されました。ジュニア駅伝には、町内の小中学生の中から男女各5人が大江町チームとして出場。クロスカントリーには男女合わせて8人が参加しました。

時折雨が降る中おこなわれた駅伝では、第1区で大江中学校2年生の菊地道登さん（梨木原）が区間3位のタイムを記録するなど、各選手とも力強い走りでした。すきをつなぎ、男女ともに総合順位で昨年を大きく上回る成績を残しました。





▲ポンプ車の部優良賞・第4分団自動車部



▲小型ポンプの部優良賞・第3分団第2部

8/5

## 5市町の精鋭がしのぎを削る

消防団員の操法技術の向上と士気高揚を図るための西村山支部消防操法大会が、8月5日に河北町のサハトベに花で開かれました。本町からは第4分団自動車部と第3分団第2部が出場。約2カ月間、平日早朝や休日に訓練をおこなってきた選手たちは、応援に駆け付けた地元の皆さんの前で見事なチームワークと操法技術を披露しました。

### 出場者

#### 第4分団自動車部

指揮者	松田 秀樹 (貫 見)
1 番員	鹿股 桂一 (藤 田)
2 番員	村中 亮竜 (貫 見)
3 番員	柏倉 正志 (月が丘)
4 番員	庄司 光幸 (小漆川)
補 欠	松田 誠 (貫 見)
補 欠	富樫 俊介 (藤 田)

#### 第3分団第2部

指揮者	小林 克志 (美 郷)
1 番員	渡邊 貴幸 (諏訪原)
2 番員	林 大輝 (上北山)
3 番員	石沢 健翔 (諏訪原)
補 欠	渡辺謙太郎 (塩野平)
補 欠	菊地 大道 (梨木原)



8/13

## 国境を越えて交流を広げる

大江ロータリークラブ（会長：木村圭一さん・6区）の国際交流事業で、交換留学生としてブラジルから来町したナオミ・ヒロセさんが、8月13日に渡邊町長を訪問しました。大江ロータリークラブの留学生受け入れは約10年ぶりで、滞在期間は来年6月までとなります。

本町の豊かな自然や星空が大好きだというヒロセさん。2学期から左沢高校に2年生として編入し、授業や学校行事はもちろん、ロータリークラブの活動のほか町のイベントにも参加して、町民の皆さんと交流を深めていく予定です。



8/25

## 土砂降りの中でも躍動！

大江中学校恒例の体育行事「躍動祭」が、8月25日に開催されました。今年のスローガンは『闘魂』～燃えろ闘志 輝け大江魂～。全校生徒が赤軍と白軍に分かれ、綱引きや棒倒し、騎馬戦などさまざまな競技で競い合いました。また、赤軍白軍それぞれが「風神雷神」をベースとした迫力ある応援看板を制作し、応援合戦では両軍ともに声を振り絞っての応援を披露しました。

最終種目の対抗リレーでは、急に降り出した激しい雨の中、両軍の選手たちがびしょ濡れになりながら全力の走りを見せていました。



# 町長 Column

熊は穴に籠もって春まで冬眠するとい  
う。東京周辺に住む友人は、今年の夏はま  
るで「夏眠」だよ、と電話の向こうで元氣  
がない、連日一日中エアコンをつけっぱな  
しにした夏は初めてだ、とも言った。

会議のおこなわれる場所まで歩いて10分  
ほどの駐車場に車を止めた。車の窓を開け  
たら熱風がどどーっと、まるでサウナ風呂。金色の細い布  
と糸が絡み合うように太陽が燃えている。薄い、いや毛の  
ない頭をさらすのもなあ……。見れば車内に大きめの黒  
い雨傘、日傘ではないが、日除けの機能は十分ある。背筋  
を伸ばし、堂々と雨傘高く京都の真ん中を歩いて会場に  
着いた。入口から入った途端「涼しい」、気分爽快、な  
のに受付嬢は、「雨傘ですか」と声高に、しかもはつきり  
と「のたもつた」。我として、頭のとつぺんが「カツ  
」と熱くなった、心ない言葉は人を熱くするのかもしれない。  
大きな黒い傘を手に持ち会場に入ると、さらにお二人のこ  
婦人から「念には念を入れてということか」と同じ言葉  
を頂いた。あー、持つ傘によって品性まで決められるよう  
なお言葉、いっとき「カツ」が10分ほど収まらなかつた。  
年寄りの冷や水というものの……。涼気はゼロになつた。  
子どもたちに教育を施す「義務」が国民一人ひとりにあ  
るといふ。義務教育現場の教室は、命の危険の暑さだ、な  
のにこの会場の大人は快適冷房、なんちゅうこつた……。  
と「カツ」が知らないうちに大声で演説させていた。気が  
ついたら後の祭りだ。座は白けているかと思いきや、見れ  
ば皆さんがじーっと聴いていたようには思えた。さすがに  
「全国区」の皆様ではあるが、「カツ」でのスピーチはいた  
だけない。寝つきの悪い夜となつた……。

大江町長 渡邊 兵吾

## 地域おこし協力隊通信

No.46



先月15日に「灯ろう流し花火大会」がおこなわれまし  
た。大変な盛況ぶり、その勢いたるや開催中通信回線  
がパンクするほど。それはSNSによるリアルタイムの発信  
ができないということで、私にとっては一大事でした。  
大江町最大規模のこのイベントをSNS上で共有できな  
かったのは大変心残りですが、裏を返せば訪れてくれた皆  
さんが各々情報を発信してくださっているということなの

で、結果オーライでしょうか。

そんなことを考えながら花火を撮影していて驚きました。間近で見る花  
火はこんなにも美しいものかと、同時にどんなバーチャルな表現も決して  
及ばない生の力強さを感じました。「スマホばかり見てないで空の花火を  
見てみる」という言葉がどこからか聞こえた気がして、そんな日があつて  
もいいのかなあと思いました。

地域おこし協力隊  
坂口 祥太

- ◆ [facebook] <http://ur2.link/LCx0>
- ◆ [twitter] <http://ur2.link/LCxb>



↑素敵な花火!! 百目木から撮影

### ● 短歌 ●

夕風に数々の花咲き誇り鉢植えの木々も通りより見ゆ

松田 馥

故里の雨傘滝や伏辺山脳裏過りて眠りに着けず

佐竹磨砂湖

ファイナレは絢爛豪華であらまほし夜空に開く花火の如く

山家 重之

ラジオから玉音流れ泣いた日の十五の夏はあれから七十三年

菊地つねよ

八十路坂一日ドックを受けるたび身の丈縮み思ひ侘しき

佐竹 與鼓

みはるかす連峰に残雪かがやけど砂漠のごときわが畑かなし

斎藤 徳治

### ● 俳句 ●

五臓六腑振動残る花火かな

阿部 一風

空蟬の主はいずこか鳴くはなし

鴨田富士夫

向日葵や大声で立つ青空へ

松田 馥

盆迎へ花屋の床の水浸し

安藤 桂花

隣でもまろうど来たり花火の日

山家 重之

初盆や流す百万本の薔薇

熊谷 勉

秋出水最上川が濁す日本海

舟山 三男

惜しむごと平成最後の秋暑し

伊藤 啓泉

吟遊浪漫  
ぎんゆうろまん

※このコーナーに掲載ご希望の方は、毎月20日(必着)まで  
役場総務課に作品をお寄せください。



# Youthful トーク

小さいころ、外で遊ぶのが大好きだったという鈴木さん。中学生の時にソフトボール部に入部してから、高校、大学とソフトボールを続け、大学3年生の時には東北総体でチームとして見事優勝の栄冠を勝ち取りました。

「いいプレーが出るとチームみんなで盛り上がる、その雰囲気大好きなんです」と、鈴木さんはソフトボールの魅力を語ります。

今年4月からは、さがえ西村山農業協同組合で窓口業務を担当。金融業務ということもあって勉強することが多く、忙しい日々が続きますが、「将来は皆さんに頼られるような職員になりたいです」と、前向きに仕事に取り組んでいます。

そんな鈴木さんの楽しみの一つが、旅行に行つて写真を撮ること。これまで関東、関西、中国地方と、さまざまな土地を訪れたそうです。

「行ってみたい場所は、北陸、九州……あと、いつかはオーロラをこの目で見たいです!」と、夢は尽きないようです。

鈴木いずみさん (23歳・1区)

夢に向かって全力投球!

シリーズ企画

月刊

## 仲間とエンジョイ!

No.19

町内でスポーツや文化活動などを楽しんでいる皆さんをご紹介します。

### おおえ舟唄太鼓の会

会長：村上晃治さん(9区)

町に新しい伝統として和太鼓を根付かせようと、平成8年に結成されたおおえ舟唄太鼓の会。現在は町内の子どもたちもメンバーに加わり、11人で活動中です。町の文化祭などのイベントで力強い音色を披露しているほか、太鼓のジュニア大会にも参加しており、平成25年には県代表として全国大会に出場しました。

「みんなの音が一つにそろった時の心地良さは、太鼓ならではの魅力だと思います」と話す、会長の村上さん。「今太鼓を叩いている子どもたちが大人になった時、また子どもたちに太鼓を伝えていく、そのような文化の伝承のサイクルができればいいなと思っています」



▲おおえ舟唄太鼓の会の皆さん



▲10月の大会に向けて練習に励んでいます



# お知らせ

## Information

### 平成30年度直営除雪機械 運転手を募集します

- ◆ 応募資格／次の条件をすべて満たす方
  - ① 大型特殊自動車免許を取得しており、車両系建設機械運転技能講習を修了していること、
  - ② 昭和23年4月2日以降生まれであること、
  - ③ 中型自動車が運転できること（平成19年6月2日以降に免許を取得された方は中型免許を取得していること）
- ◆ 雇用期間／12月15日～平成31年3月15日
- ※降雪状況により雇用期間延長の場合有り。
- ◆ 勤務時間／月々金曜日 8時半～17時15分
- ※降雪状況により早朝除雪および土日祝日の勤務有り。
- ◆ 賃金／経験年数5年以上：日額14,200円、経験年数3年以上：日額13,700円、経験年数2年以下：日額13,000円
- ◆ 募集定員／6名程度
- ◆ 募集締切／9月28日（金）
- ◆ 採用決定／応募多数の場合は書類

審査のうえ決定

- ◆ 応募方法／建設水道課窓口備え付けの除雪臨時運転手雇用申込書に記載されている必要書類を添付のうえ、建設水道課管理係へ提出
- ※健康診断書は視力、聴力、既往歴が記載されているものを添付してください。

建設水道課管理係 ☎(62)2116

### 町内園児の救急車の絵を 展示しています

9月9日の「救急の日」にちなんで、町内の幼稚園・保育園の年長児が描いた救急車の絵を展示しています。ぜひご覧ください。

◆ 期間／9月28日（金）まで

◆ 会場／中央公民館1階ロビー

健康福祉課保健衛生係

☎(62)2114

### 森ノ宮都市公園飲料用自動販売機 設置事業者募集

森ノ宮都市公園内への飲料用自動販売機の設置を計画しています。つきましては、次のとおり設置事業者を募集します。

- ◆ 申込方法／申込用紙により体育センター受付期間内に提出（申込用紙は事務室に用意）

## 通行規制のお知らせ



① 町道小見沢右岸線舗装補修工事に伴う通行止め

◆ 場所／小見地内

◆ 規制期間／

9月25日（火）8時半～10月9日（火）8時半

終日片側交互通行

10月9日（火）8時半～26日（金）17時

終日全面通行止め（歩行者、自転車も通行不可）

② 町道所部線舗装補修工事に伴う通行止め

◆ 場所／所部地内

◆ 規制期間／

9月25日（火）8時半～10月5日（金）17時

終日全面通行止め（歩行者、自転車も通行不可）

※①②とも工事終了時点で通行規制は解除します。

建設水道課建設係 ☎(62)2116

◆ 申込受付期間／9月18日（火）～28日（金）

◆ 設置場所／森ノ宮都市公園敷地内

◆ 設置者選考／申込者多数の場合

は、抽選などにより選定

※申込には各種条件があります。条件などの詳細についてはお問い合わせください。

※町ホームページに9月18日（火）から要項・申込用紙などを掲載します。

教育文化課体育振興係

☎(62)3663

### むしやまの感謝祭2018 in 中山

◆ 日時／10月6日（土）9時半～13時

◆ 会場／中山町立豊田小学校体育館

◆ 内容／○アトラクション（土橋獅子踊り保存会による演舞）、○森づくり活動（ヒメサユリの植栽）、9月20日まで事前申込が必要）、○振る舞いコーナーや木育ブースなど

村山地域森の感謝祭実行委員会

事務局（村山総合支庁森林整備課）

☎023(621)8248



## 第15回 大江町民大運動会の開催について

4年に一度の一大イベント、大江町民大運動会が10月7日、総合体育施設で開催されます。

町民大運動会は昭和40年に第1回が実施され、昭和61年からは現在のように4年に一度開催されるようになりました。

町民大運動会の目的は「スポーツを通じて地域の親睦と団結を図ること」です。全国的に地域コミュニティが衰退しているといわれる中で、町内各地区民が一堂に会しておこなわれる運動会は、地域の連携と親睦を深める絶好の機会です。

開催種目も、身体能力の高さを必要としないレクリエーションに近い種目、年齢や性別に関係なく誰でもおこなうことができ楽しめる種目となっています。もちろん応援のみの参加も可能です。一人でも多くの方の参加をお待ちしています。

なお、大江町体育協会支部単位での参加となりますので、不明な点は、各地区の区長、もしくは社会体育推進員へお問い合わせください。



▲前回大会の様子(平成26年)

### 【競技種目/参加条件】

- ①お猿かこの駕籠屋リレー/乗り手4名(小学4年生以上)、担ぎ手オープン8名
- ②まり入れさせない/65歳以上、1チーム(男女各10名×2支部)
- ③力くらべ(綱引き)/一般男性20名、一般女性10名
- ④浮き輪フィッシング/オープン男女各5名
- ⑤幼児まりひろい/幼児
- ⑥宅配便リレー/10~60歳代の各年代の男性6名、女性6名
- ⑦混合リレー/合計年齢300歳以上とする男女計8名、内女性2名以上

## ヘルプマークを知っていますか? 援助が必要な方のためのマークです

義足や人工関節を使用している方、内部障害や難病の方、または妊娠初期の方など、外見からは分からなくても援助が必要な方がいます。

ヘルプマークを見かけたら、電車やバスで席を譲る、困っていたら声をかけるなど、思いやりのある行動をお願いします。

また、ヘルプマークをご希望の方には役場健康福祉課で無料で配付しますので、お問い合わせください。

☎健康福祉課福祉係 ☎(62)2285



## コミュニティ助成事業で 整備しました

一般財団法人自治総合センターでは、地域社会の健全な発展と住民福祉の向上を目的に、宝くじ事業としてさまざまな社会貢献事業をおこなっています。今年度本町では、次の地区がこの事業に採択されたのでご報告します。



### ○藤田区

公民館のエアコンを整備しました。区民や各種団体による公民館の利用頻度も多くなり、コミュニティ活動の拠点として地域の活性化が図られました。



### ○蛭水区自主防災会(蛭水区)

災害時の備えとして、防災倉庫及び防災備品を整備しました。防災訓練や避難所運営などの自主防災会としての活動が円滑に展開できるようになりました。



## 編集 後記

9月4日、県立博物館のプライム企画展での展示のため、ふれあい会館のヤマガタダイカイギユウ模倣「ぶくちゃん」が運び出されました。仰向けの状態でトラックの荷台に固定され、運搬される姿を見ているうちに、水揚げされた本物のダイカイギユウが市場かどこかに運ばれていくのを眺めているような錯覚に陥りました。つい二百年前ほどまでステラーカイギユウが生きていたことを考えると、ほんのちよつと歴史が違っていたら、海牛たちが泳ぐ姿を見られたのでは...などと考えてしまいます。(伊藤智治)



# 思い出の まいぞうひん My蔵品

No.35

皆さんの心に残る思い出の品を、それにまつわるエピソードとともにご紹介します。



▲当時のレコードも包装紙と一緒に残っています



▲「祖父は珍しいもの好きで、いろいろなものを買っていました」と話す工藤さん



▲大正時代に工藤さんの祖父が購入したという蓄音機。およそ百年もの時間を経た今も、レコードを再生することができます

この蓄音機は、大正時代に祖父が購入したものです。当時、私が住んでいた小柳地区には電気がなかったので、明かりは石油ランプでした。このような生活の中で、蓄音機はとても貴重な物でした。ハンドルでゼンマイを巻くことで、レコードを回転させる仕組みです。

山村生活の中で何も娯楽もなかった時代ですから、村の皆さんがやって来て、浪曲、歌謡曲などを喜んで聞いてくれました。また、当時、月布の秋祭り（風祭り）の時に演芸大会がありました。そのときに使用するために、地区の方が毎年この蓄音機を借りに来ていました。

私が小さい時、父は軍隊に行っていたため、祖父と一緒に生活していました。蓄音機の使い方を祖父に教えてもらったことなど、本当に懐かしく思い出します。

（山崎 工藤吉藏）

★皆さんの思い出の詰まった「宝物」はありませんか？ 懐かしい写真、長年愛用している道具、旅先で購入した記念の品など、なんでも結構です。総務課情報システム係 ☎(62) 2187まで、ぜひお知らせください。

## 戸籍のまど

7月21日～8月20日受付分

### ご結婚おめでとう

区名・出身地名	氏名
（小 鉦 結城 翔太	
（山 形 下田 礼佳	
（木の沢 三浦 幹太	
（木の沢 木村 春香	

### ご冥福を祈ります

区名	氏名	年齢
富 沢	堀 喜代吉	(92)
6 区	小國 なよ	(99)
原	佐藤 貞子	(85)
9 区	武田 元榮	(81)
藤 田	森谷 弘	(92)
藤 田	鈴木 みゑ	(94)
9 区	海野 貞一	(94)
檜 山	東海林長三郎	(84)
9 区	金山とみゑ	(92)
9 区	志田嘉一郎	(71)
4 区	梅津恵美子	(88)
葛 沢	鈴木きくゑ	(97)
9 区	林 忠逸	(86)



### 人口と世帯(前月比)

町の人口	8,261人(-13)
男	4,105人(-8)
女	4,156人(-5)
世帯数	2,928戸(-4)

平成30年9月1日現在

※掲載を希望しない場合は、届け出の際にお申し出ください。